

学習者用PCを活用した地域探検活動事例

～児童の気付きの質を高める活動～

取組の 難易度	(準備) ★ ☆ ☆		
	(教員のICT活用能力) ★ ★ ☆		
校種・学年	小学校・2学年	教科等	生活
ICTを活用した 学習場面	A1 教員による教材の提示 B2 調査活動 C1～C4 協働学習	領域・ 分野等	(3) 地域と生活
ICT 機器等の 準備等	学習者用PC (カメラ機能・「Jamboard」等)		

1 事例の概要

地域探検において、自分たちが紹介したい画像や動画を学習者用PCで撮影する。撮影した画像や動画を振り返り、友達と伝え合い交流する中で、自分と友達の発見を比べ、似ているところや違うところを見付ける。その後、学習者用PCを活用した発表会をする中で互いの「気付き」を共有し、さらに調べてみたいことを明確にして、再び地域に出かけていく活動を行い、気付きの質を高めていく。

【発表会について】「Jamboard」を使用して、写真を張り付け、周りにコメントを入れたスライドを作成。共同編集機能を使ってグループで1人が1～2枚のスライド担当して6枚～8枚の発表用スライドを完成させる。完成したスライドを使って発表会を行う。

【事後の活動について】協力いただいたお店の方へお礼の手紙と完成したスライドを印刷して渡す。各自が作成したデータを保存し次年度に引き継ぎ、生活科のデジタル資料集として活用する。また、他学年や異校種、保護者、地域住民との交流のきっかけづくりとすることもできる。

※利点○、配慮事項●

2 ICT 活用の利点や配慮事項

- 個々の思いや願いに応じて、学習対象を視覚的で分かり易く提示することで、学習対象への興味・関心を喚起することができる。
- 様々な場所を調べたり利用したりする過程で、そこで出会う「人・もの・こと」について多様な情報を記録し、その後の伝え合いに生かすことができる。
- 活動や体験に没頭してきた児童が、その後の振り返り活動において自分たちの行為を客観的に振り返ることができ、活動のよさに気付くことができる。
- 個人情報や、学習者用PCの慎重な取扱いに配慮が必要である。
- 協力していただくお店との事前打合せで撮影することを伝える。

3 資料

学習者用PCのカメラ機能を利用して、お店の説明を児童が撮影している場面。

